

# 住宅・建築 SDGs フォーラム 第2回シンポジウム

## 建築分野の脱炭素化に向けた世界の動き

**日時** 2022年9月15日(木) 13:30-17:00

**開催方法** Zoom によるウェビナー方式

**主催** 住宅・建築 SDGs フォーラム  
一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECS)

**共催** 一般社団法人 日本サステナブル建築協会

**参加費** 無料 **定員** 400名

2021年11月、COP26が英国グラスゴーで開催され、多くの国が2050年カーボンニュートラルを掲げることとなりました。また、IPCCの第6次報告書が新たに公開されており、このような気候変動対策への高まりの中、建築分野の脱炭素化は、今ある技術を基本として、ネットゼロに向かう道筋が見えてきたこともあり、世界各国で先進的な政策や実装が始まっています。ネットゼロ建築基準、建築物を対象とした排出量取引、地域熱供給の積極導入、太陽光発電の新築建築への義務化など様々ですが重要な点としては、建築物のネットゼロ化が、エネルギー・気候変動対策としてだけでなくとどまらず、多くの利点を持ち、歓迎される環境があります。日本でも2050カーボンニュートラルを見据えた2030年の建築における目標が定められ、その実現に向けて、様々な政策、インセンティブ策が検討されています。今回のシンポジウムは、その参考とするためにも、先進的な動きを学ぶとともに、日本における建築分野のネットゼロ建築について考える機会として企画したものです。

### ■プログラム ※今後変更することがあります

司会：吉野博（東北大学名誉教授）

**開会挨拶** 13:30～13:35（5分）

村上 周三 一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター（IBECS） 理事長

**基調講演** 13:35～14:35（各30分）

1. カーボンニュートラルに向けた各国の動き、COP26の成果とこれから

高村 ゆかり 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

2. IPCC第6次報告の最新情報と各国の対応

下田 吉之 大阪大学大学院 教授

**話題提供** 14:35～16:05（途中休憩 15:15～15:25）（各20分）

1. 各国における住宅・建築の脱炭素化の政策動向

1) 米国における建築脱炭素化への取組 西尾 健一郎（（一財）電力中央研究所 上席研究員）

2) 欧州における建築脱炭素化への取組 西田 裕子（（公財）自然エネルギー財団 シニアマネージャー）

2. 各国の取り組み事例

1) EU/ドイツにおける取組 金田 真聡（ドイツ在住、建築家・DX戦略アーキテクト）

2) ポストンでの取組 岡田 早代（Cube Zero 代表）

**討 論** 16:05～17:00（55分）

テーマ：脱炭素化の世界の動きから何を学ぶべきか

討論司会 下田 吉之（上掲）

パネリスト(予定): 上記講演者、自治体から

**閉 会** 17:00

**お申込み** 下記 URL よりお申し込み下さい。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_ET\\_wQqIAT5OrYnnOu6TeOQ](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ET_wQqIAT5OrYnnOu6TeOQ)

**問合せ先**

一般財団法人 住宅・建築 SDGs推進センター(IBECS) 住宅・建築SDGsフォーラム事務局  
電話: 03-5213-4191 (平日 10:00~17:00)  
メールアドレス: [sdgsforum@ibecs.or.jp](mailto:sdgsforum@ibecs.or.jp)